

2010年1月1日から2022年12月31日の間に
札幌市で救急出動の対象となった方ならびにそのご家族

「札幌市における救急搬送データの解析:後ろ向き観察研究」へご協力をお願い

研究協力をお願い

当講座では「札幌市における救急搬送データの解析:後ろ向き観察研究」という研究を行います。この研究は、2010年1月1日から2022年12月31日までに札幌市で救急出動の対象となった方の消防記録を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：札幌市における救急搬送データの解析:後ろ向き観察研究

対象期間：2010年1月1日～2022年12月31日

研究責任者：札幌医科大学 救急医学講座 講師 上村修二

研究実施場所：札幌医科大学、札幌市消防局、北海道科学大学

(2) 研究の意義、目的について

救急搬送患者は年々増加しており、2019年の救急隊の出動件数は日本全体で約663万件、札幌市では約10万件となっています。救急医療への過剰な負担増加は地域の救急医療体制維持を困難なものとするため、救急活動の円滑化は解決すべき喫緊の課題です。少子高齢化などによって経済社会構造が急速に変化していく中、限られた資源を活用して効率的な政策を展開するために、証拠に基づく政策立案（Evidence-based policy making; EBPM）の考え方が重要と考えられています。本研究では、札幌市における救急出動状況を解析して、救急医療における研究課題を抽出して明らかにすることを目的とします。本研究の意義は、救急医療のあり方について、新たな知見を得ることで、救急医療システムをより効率的かつ質の高いものにつなげることができることです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる情報の種類）

2010年1月1日から2022年12月31日までに札幌市で救急出動の対象となった方の消防記録から個人を特定できる情報を除いたデータを、札幌市消防局から提供いただきます。

この研究は、対象者の以下の情報を用いて行われます。

情報：指令番号、覚知日時、事故種別詳細(出動に対する区分)、搬送不搬送(不・救護区分)、救急隊(名称)

出動日時、現場到着日時、傷病者接触日時、搬送開始日時、最終病院到着日時、医師引き継ぎ日時、引揚・医師搬送開始日時、帰署日時

距離出動～現場、距離現場～病院、救急要請の概要、特記事項、不搬送理由

性別、年齢、複数要請者番号、居住地まちづくりセンター名、事故種別(傷病者)、傷病程度、搬送先医療機関
病院選定者、診療科目、転送の有無、病院到着日時、救急隊判断緊急度、合計受入照会数、外国籍該当、事故種別詳細(個人に対する区分)

発生場所(大分類、中分類、小分類)、発生場所まちづくりセンター名、傷病名(主)、傷病名(副)、急性疾病分類、医療機関区分、病院選定経過、交渉 連絡開始日時、交渉 病院決定日時

接触時のバイタルサイン（JCS、収縮期血圧、拡張期血圧、脈拍、酸素飽和度、使用酸素量、呼吸数、体温、心電図）

保健所経由の依頼の有無、救急救命士による特定行為実施状況、血糖測定者の血糖値

（４）研究期間について

病院長承認日から 2026 年 3 月 31 日までを予定しております。

（５）予定データ数

研究対象のデータ数は約 120 万件を予定しております。

（６）情報の保存、二次利用

この研究に使用した電子情報は、研究の中止または研究終了後 10 年間、札幌医科大学救急医学講座内で、パスワードで管理・制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、札幌医科大学倫理委員会で承認を得ます。

（７）情報の管理責任者

収集した情報は、札幌医科大学救急医学講座 上村修二が管理を行います。

（８）情報開示・利益相反ならびにインフォームド・コンセントについて

本研究は、札幌医科大学倫理委員会の承認ならびに札幌医科大学学長の許可を受けて実施します。特定の企業等から支援を受けて行うものではなく、利益相反は存在しません。研究計画について、下記にお問い合わせいただければ、札幌医科大学倫理委員会で承認を受けた研究計画書を開示させていただきます。

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存の診療情報のみを用いて実施する観察研究です。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」及びガイダンスに基づいて、本研究のインフォームド・コンセントについてはこちらの情報公開によって行われることとしております。

研究対象期間である 2010 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日までに、札幌市で救急出動の対象となった方ならびにそのご家族が、本情報公開文書での内容をみて、拒否できる機会（オプトアウト）を保証しております。

研究協力をお願いにお示しした通り、この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合は下記の問い合わせ先にご連絡下さい。オプトアウトの期限は、**2023 年 3 月 31 日**とさせていただきます。

（９）費用負担ならびに健康などのリスクについて

研究参加者の費用の負担はありません。また本研究は、過去の情報をもとに行う研究であるため、健康被害などのリスクはございません。

（１０）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（１０）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(11) 問い合わせ等の連絡先

札幌医科大学 救急医学講座 講師 上村修二

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目291番地

電話番号：011-611-2111（代表） 内線：37110（平日 9時～17時まで）

メールアドレス：2020covidstudy.smu99@gmail.com（平日日中・平日夜間・休日）